



艷道通鑑
四冊



入遠 13
1796
C3



1796
3



艶道通鑑卷之四

無常之忘目錄

- 一 定方れた世の辰
- 二 室に遊女乃辰 附 於基中納言の事
- 三 女郎花の辰
- 四 大江定基乃辰
- 五 求女塚の辰
- 六 忘塚乃辰
- 七 葵女の辰
- 八 虎侍茶の辰 附 黄瀬川の毒鶴の事



- 九 矢矯の淨瑠璃乃辰
- 十 佐野の赤穂の辰
- 十一 四季乃辰



一にむらちの世に美多とつしあが。四十年にこそをらん
 こそ月やとらふまは余りぞかたもつては身が
 好まぬまをじ。天命とそれとを何をさうらんと書
 ぶれぞむとついで。まゝねどもある。んごうき形は足
 非なる。面影のうらぐよの影。命がふゆうらな物さ
 ばとよみ。まゝいまのまゝいささ言乃海邊へまうりま
 が不祥。星のつまそと。一日のわぶあはるまゝにま
 ぐらぬ。ねんせうねん水で。まゝとらふまゝまのま
 らやあし。西の太黒の丸。中よ。瓜んぬ。分判。弟。秘
 のふとたげ。せむらふ。いかな。まゝ。まけ。べ

あつこもどし。姑^{いぢ}まもどし。げんご。理^{ことわり}よあまの道^{みち}よしり
ど。ゆぐもたあがらうむ。

二

ひり播磨の四竹^{よんちく}岡^{おか}といふ所。庵^{いん}住^{ぢゆう}ひり^{ひり}尼^にあつこもどし
室^{むろ}れ^れた女^{むすめ}とぞ作りけるが。義^ぎ目^めと^とは^はち^ちも^も悪^{あく}く^くざりけ
ふ^ふし^しや。歌^{うた}基^{もと}中^{ちゆう}細^{さい}言^{げん}に^にあ^あり^りれ^れま^まう^うて。と^とも^もの^の程^{ほど}都^とふ^ふん^ん程^{ほど}
々^々り。い^いろ^ろの^のれ^れま^まう^う作^{しやく}ら^らん。す^すさ^さら^らう^う作^{しやく}ら^らて^て室^{むろ}の^の後^ご
又^{また}女^{むすめ}の^のう^うま^まい^いま^まじ^じ作^{しやく}ら^らり^りける^るや。或^{ある}中^{ちゆう}細^{さい}の^の内^{ない}
け^け人^{ひと}の^のま^まあ^あて。西^{さい}國^{こく}の^の越^こへ^へり^りる^るか^から^らん^ん。髪^{かみ}と^とあ^あて
候^{さう}け^けは^はと^とか^かく^く書^かけ^けり

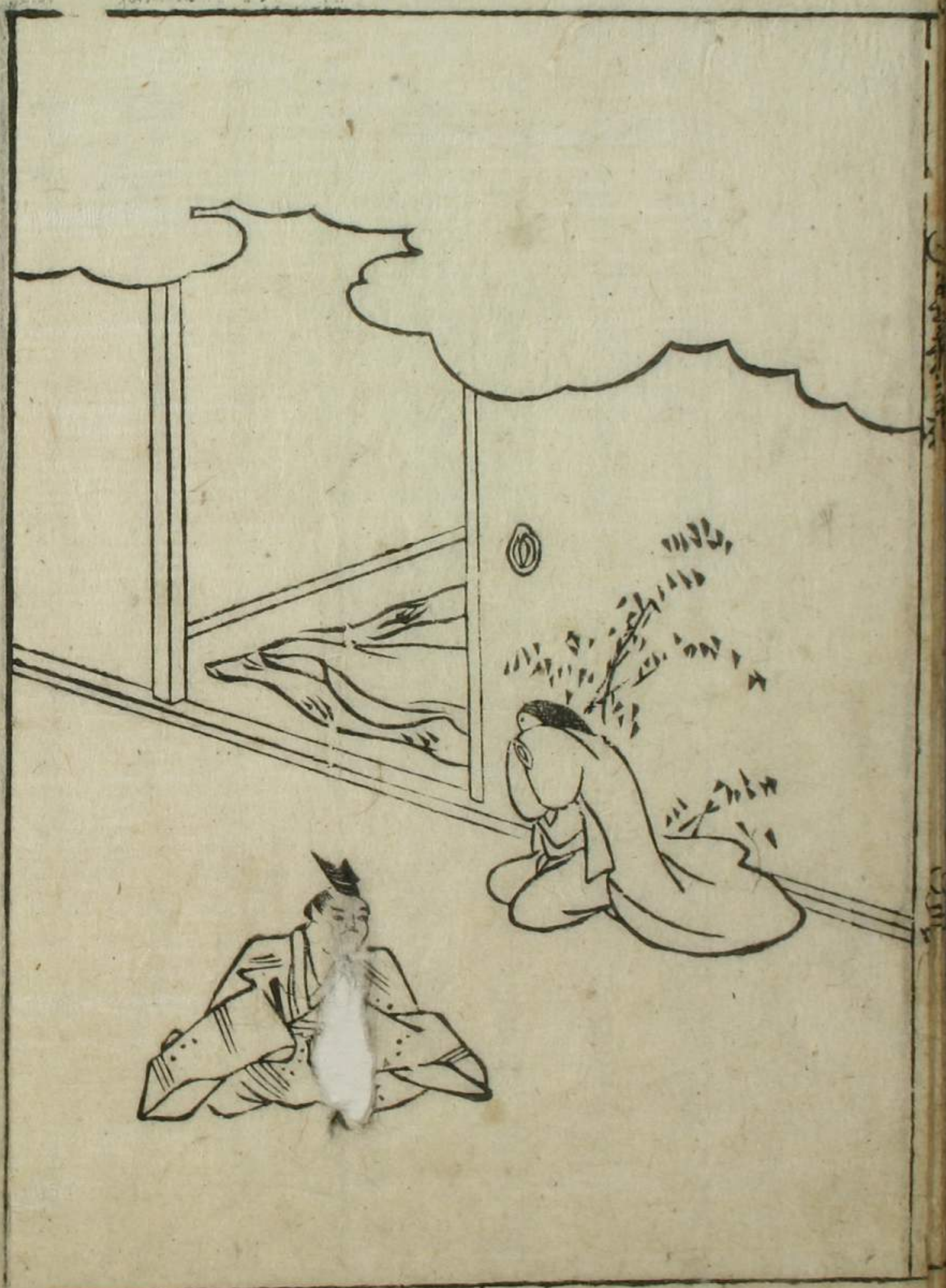
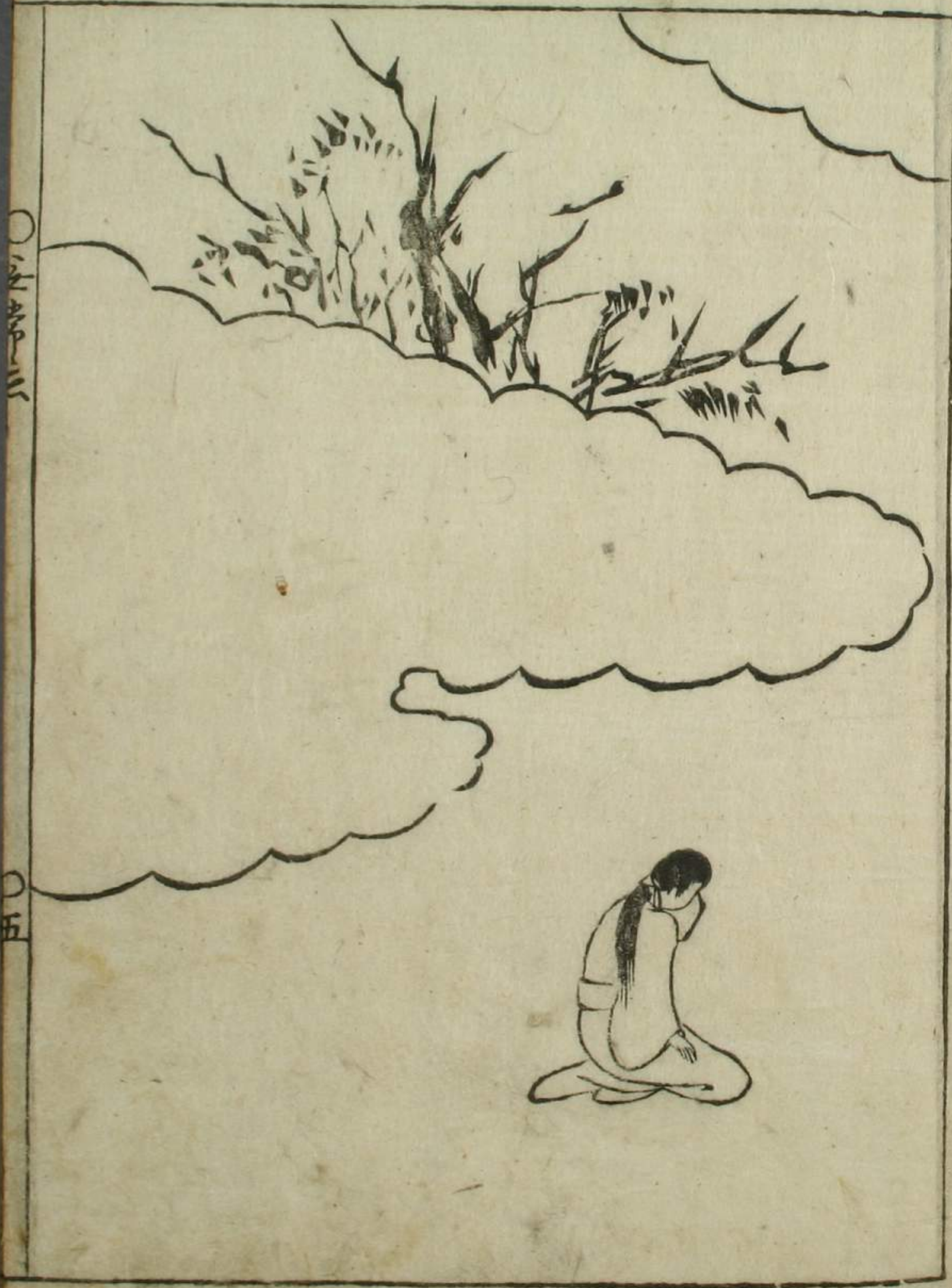
は^はま^まも^もあ^あら^らう^うと^とあ^あら^らう^うて^てし^しめ^めい^いん^んと^とい^いふ

あ^あは^はと^とか^から^らと^とも^も神^{かみ}人^{ひと}か^から^らう^う勢^{せい}

中^{ちゆう}書^{しよ}を^をあ^あら^らか^かげ^げら^らし^し後^ごの^のう^うま^まい^いろ^ろと^とし^しあ^あら^らう^うて。は^はあ^あ庵^{いん}の^の
く^くさ^さら^らの^のう^うま^まい^いろ^ろと^とし^しあ^あら^らう^うて。中^{ちゆう}細^{さい}言^{げん}は^はあ^あら^らう^うて。
両^{りやう}ま^まづ^づん^んと^と流^{りゆう}ら^らん^んと^とい^いろ^ろう^うち^ちり。一^{いち}法^{ぽう}は^はあ^あら^らう^う庵^{いん}の^のう^うま^ま
今^{いま}の^の流^{りゆう}ら^らん^んと^とい^いろ^ろう^うち^ちり。曲^{まが}本^{ほん}は^はあ^あら^らう^うの^のう^うま^まい^いろ^ろと^とし^しあ^あら^らう^うて。
信^{しん}づ^づく^くか^から^らん^んと^とい^いろ^ろう^うち^ちり。里^{さと}は^はあ^あら^らう^うの^のう^うま^まい^いろ^ろと^とし^しあ^あら^らう^うて。
て^てあ^あら^らう^うの^のう^うま^まい^いろ^ろと^とし^しあ^あら^らう^うて。根^ねは^はあ^あら^らう^うの^のう^うま^まい^いろ^ろと^とし^しあ^あら^らう^うて。
返^{かへ}ら^らう^うて。同^{どう}に^にあ^あら^らう^うの^のう^うま^まい^いろ^ろと^とし^しあ^あら^らう^うて。あ^あら^らう^うの^のう^うま^まい^いろ^ろと^とし^しあ^あら^らう^うて。
人^{ひと}は^はあ^あら^らう^うの^のう^うま^まい^いろ^ろと^とし^しあ^あら^らう^うて。あ^あら^らう^うの^のう^うま^まい^いろ^ろと^とし^しあ^あら^らう^うて。
か^かげ^げら^らう^うの^のう^うま^まい^いろ^ろと^とし^しあ^あら^らう^うて。あ^あら^らう^うの^のう^うま^まい^いろ^ろと^とし^しあ^あら^らう^うて。

乞の程のみくき入てゆら。げ中細言もつらき。けしき今て
 いかんか。わらう。つらきもあらぬ。乞のきい。けしき。つらき。せぬ。けしき。
 乃ゆ。けしき。つらき。今て。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。
 あり。い。ゆき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。
 浮。ゆき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。
 けしき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。
 て。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。
 の。ゆき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。
 ま。ゆき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。
 幸。ゆき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。

さ。ゆき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。
 ね。ゆき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。
 多。ゆき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。
 の。ゆき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。
 人。ゆき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。
 づ。ゆき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。
 あり。ゆき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。
 あり。ゆき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。
 み。ゆき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。
 あり。ゆき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。つらき。



多しぬ。この西乃乃意まうりや。びじり。昔程の縁。しん
 う。神禮をすれもの。陰陽を。指を信じやう。暗方
 で。水すも。特鼻禪。いづと。向。さま。ま。ま。この。指
 ち。成。じ。さ。れ。も。者。れ。形。か。ま。ん。さ。り。後。皺。せ。て
 若。め。ま。り。人。を。だ。律。義。者。の。中。に。さ。り。い。彼。女。の。さ。り。ん。世。を。
 衣。紋。も。清。和。い。入。す。だ。れ。と。書。る。下。の。海。し。て。色。の。の。り
 身。の。と。り。海。い。立。み。す。る。苦。乃。世。み。成。々。々。と。り。好。ま。さ。り
 衣。あ。で。人。を。懸。着。乱。髪。の。く。客。對。さ。り。い。道。の。さ。り。
 し。ハ。指。に。里。い。小。節。の。彩。風。と。中。定。い。氣。受。け。し。る。直
 う。と。が。け。ぬ。因。信。あ。ま。ら。う。の。道。世。に。ゆ。る。れ。文。作。と

持代よとどれ。美と端も。る。じ。く。も。く。み。る。れ。も。口。詢。う
 て。い。ら。も。成。務。さ。ぬ。教。を。せ。い。み。ら。う。ま。い。と。れ。成。務。さ。り。て
 池。く。ね。い。女。の。と。け。ら。男。う。り。さ。れ。い。を。ま。ら。う。の。あ。ま。ら。う。い。ま。ま。と。
 世。成。け。づ。う。身。操。を。ん。と。と。と。大。う。い。柳。の。お。れ。さ。い。う。り
 して。さ。ひ。さ。ぎ。と。の。ま。ら。う。ふ。縁。の。纏。ひ。い。は。せ。る。ぬ。が。ひ。と。い
 して。都。い。ひ。う。れ。ま。人。あり。付。ま。り。て。い。を。み。り。て。口。信。一。年。餘
 小。さ。い。と。合。つ。あ。つ。い。ん。と。は。い。し。て。な。れ。て。石。の。ま。ね。も。若。小
 さ。い。小。指。乃。う。は。か。り。あ。ら。雇。じ。ぬ。入。サ。り。う。と。ま。り。清。ま。か
 め。と。と。と。也。願。い。り。れ。の。烟。を。踏。て。あ。つ。と。た。ら。い。の。代。者。並
 の。ね。づ。う。り。ぬ。を。と。靴。け。の。い。用。し。ぬ。あ。ま。ら。う。う。う。う。と。う。と。う。

焼。き。埋。う。り。を。ぬ。り。せ。ぬ。影。を。も。と。せ。り。と。い。ふ。と。わ。れ。絶。
て。一。日。を。さ。る。二。日。を。経。う。ら。ん。火。の。氣。を。ば。か。う。ら。れ。風。後。ぬ。れ。が。
ま。つ。ら。ま。つ。て。あ。ら。う。の。ま。り。く。ま。じ。内。を。だ。れ。て。若。わ。り。れ。若。い。
ま。こ。ぞ。ぬ。自。い。物。く。腫。腫。し。り。使。う。た。じ。う。と。し。而。然。い。お。牙。
も。折。れ。は。じ。う。り。わ。る。姿。を。ぬ。り。て。不。淨。の。氣。を。忘。る。の。眼。
ひ。り。け。あ。ら。は。は。よ。う。り。心。の。苦。よ。か。ま。り。て。忽。ち。死。と。い。ふ。
春。房。と。い。ふ。ら。れ。て。夜。を。徹。し。し。や。し。し。こ。あ。ひ。の。か。さ。ら。ぬ。て。も。
昔。の。妻。の。情。を。た。と。恨。ま。て。お。わ。り。じ。う。我。は。お。れ。を。と。見。
せ。う。い。何。と。う。い。や。ん。と。さ。う。く。あ。た。さ。う。う。ら。り。の。ま。中。と。
ら。い。て。合。と。う。ん。を。い。り。し。し。彼。古。妻。の。あ。う。て。今。ま。つ。り。

じ。う。い。の。世。と。て。う。か。あ。の。身。を。た。ま。ら。ぬ。や。と。い。ふ。と。わ。れ。絶。
一。ま。れ。本。を。と。げ。う。や。お。多。い。お。心。ほ。づ。を。見。と。お。こ。し。
ら。ぐ。と。あ。ら。う。け。ど。や。と。罪。う。た。さ。う。い。と。悟。を。い。う。り。横。
川。い。な。り。原。位。傍。の。門。才。と。い。ふ。唐。い。海。う。は。ら。あ。ら。う。と。彼。
國。い。や。ど。に。因。通。大。師。と。を。う。り。名。う。り。て。日。本。の。か。ま。ま。と。
ま。ぞ。を。残。し。ま。し。

何。で。曰。指。を。よ。く。す。れ。ど。海。を。ほ。し。は。さ。り。た。幸。れ。人。
の。あ。は。悪。人。に。さ。ら。れ。て。う。れ。と。人。で。ま。い。に。わ。め。れ。て。よ。
ろ。こ。ぶ。い。の。ま。と。已。と。あ。ら。う。ざ。う。う。ゆ。か。り。こ。が。あ。ら。う。は。
何。れ。ど。こ。が。あ。ら。う。何。れ。ど。あ。ら。う。あ。ら。う。い。は。う。と。い。ふ。と。人。

の不ゆるはるる。身に有る悪業と人のそふいむと
 忍びて。好む事いかに。此れをたづむ。我とち
 づる悪人。也。この我とち。ぬ。悪人。が。人。好む。と。ち。づる。係
 と。ら。は。あ。や。じ。構。目。の。切。く。善。く。て。飯。喰。べ。人。と。も。
 我。を。高。慢。し。ぬ。を。と。ぬ。悪。人。と。い。ぬ。ぬ。自。ら。く。も。く
 他。由。ら。は。仲。の。教。こ。者。の。智。人。の。志。し。を。し。定。基
 の。志。の。を。し。れ。づ。ら。く。も。他。れ。や。め。を。ち。づ。を。物。乃
 料。を。と。終。を。結。じ。の。縁。より。是。國。本。罪。の。不。ま。れ
 ありし。を。あ。ん。ん。く。み。く。ち。づ。り。と。ぬ。

此れはの國乃千里に。其の死する百姓あり。一村より。

隣ありに。あ。れ。と。も。ま。の。う。ご。ん。だ。人。の。あ。り。ま。り。何。の。か。で。の。だ
 客。を。し。は。若。し。今。も。唐。も。大。和。も。と。の。れ。を。ち。づ。ら。く。も。人
 を。下。に。書。し。い。ん。づ。ら。く。も。一。飯。を。し。け。も。思。ふ。所。う。余。り
 と。ぬ。と。も。の。い。づ。ら。く。も。か。け。さ。れ。と。い。や。ぬ。と。の。也。
 ち。づ。ら。く。も。は。婦。人。の。心。を。し。て。存。り。ふ。は。い。づ。ら。く。も。人。を。し。ら。く。も。
 君子。れ。ま。づ。り。さ。づ。ら。く。も。水。を。し。て。若。く。少。人。の。あ。は。げ。の。碎。て
 くと。是。て。も。う。ら。ぬ。あ。り。ま。り。因。合。は。稀。ら。る。今。賢。人。也。ち。づ。ら。く
 小。娘。を。人。を。し。ら。く。も。家。を。和。の。婦。女。合。合。り。出。せ。と。れ。天。性。の
 有。災。が。こ。う。で。豎。う。は。お。を。垢。や。て。ぬ。ら。ぬ。と。の。と。教。を。し。ら。く
 あ。づ。ら。く。も。欠。ら。ぬ。と。ぬ。と。ぬ。の。好。む。れ。づ。ら。く。も。賢。人。也。

知もろろを志するじ。情も余りて欠るや。十六夜此の月乃
 儘たる人園ものを仕く。後も落も忙氣だ。まげとも落さ
 流れよ。さしれぬ乃のらま。さしりし。あられ。又家の又も
 なく。接草に空家のらうのみ入るも持し。ほど。この文もも言
 乃を案の。はま。中ぬ。氣は。揚。ふ。あ。げ。く。は。漢。書。の。流。れ。あ。さ
 くの。情。と。あ。ら。う。あ。れ。あ。め。と。の。を。れ。ぬ。志。わ。じ。く。す。ま。く。御。珠。と
 り。ま。人。も。お。の。れ。の。お。び。う。ま。さ。い。の。目。に。さ。度。ぬ。百。千。鳥。扱
 は。り。う。猫。負。を。さ。う。ぐ。れ。い。さ。に。い。わ。ぬ。お。も。も。度。子。あ。ま。さ。の
 細。乃。目。い。ま。け。て。い。づ。ま。い。る。じ。く。さ。さ。の。漢。沙。ま。り。け。て。取
 つ。ま。り。う。ま。い。と。あり。ま。り。ま。め。は。ま。い。あ。使。乃。器。と。い。づ。も。

迷ひて病のうへに。は。ま。さ。る。あ。ま。さ。に。せ。ざ。り。う。り。百。夜。通。ひ。お。わ
 り。ま。い。の。い。ぬ。お。ま。り。の。い。ぬ。退。き。し。て。九。十。九。夜。一。お。ん。ま。さ。を
 ち。を。れ。死。ま。り。て。世。俗。し。ま。人。心。能。も。氣。も。存。そ。へ。返。事。の
 あ。れ。よ。あ。り。て。余。く。持。と。あ。り。あ。り。知。同。志。の。奇。余。そ。と。し
 り。ま。い。に。眠。立。て。お。助。さ。し。し。止。る。あ。り。その。中。に。年。も。容。と
 ら。活。り。ま。す。お。ま。り。中。の。男。二。人。さ。い。う。あ。り。け。り。あ。り。と
 今。い。う。あ。り。あ。り。流。れ。く。い。く。し。ま。井。の。あ。り。た。あ。り。と。い。い。り。
 け。り。あ。り。母。の。あ。り。て。な。ご。や。う。く。ん。事。情。い。せ。ぬ。と。い。あ。り。と
 て。あ。り。あ。り。あ。り。情。分。か。り。て。漢。く。行。ま。さ。り。て。去。り。け。り。え
 定。ま。し。と。い。う。と。お。の。う。い。い。け。り。あ。り。あ。り。あ。り。て。猪。負。と。い。

英道人二人は浅くして川原に群ある鳥を向さず、村通る
 くみぬ。聲とせんと定められた。二人は男けけわして。弓矢おか
 み彩念して。来る者を極められたり。矢の音は例にまさり。
 矢とよれは主人の羽がいと射。主人は矢と射り。是れも分方す
 て。わやく。あめういらく。びねさすやう。世にてこのまい人。げやう
 のをうく。まふえい。とぞい。おろくも。夏生れ。ごう。胸のいと
 をう。あわれは。力をこころがす。極むして。あめたう。坂や。史の相
 の音を。おぼへる。あつ。の情。二人は。あつ。あつ。あつ。
 強。ま。肌。あめ。身を。や。屋の水。清。と。あ。く。二人の男
 肝を。えて。を。う。い。せ。と。は。と。は。と。花。色。く。あ。い。き。り。村中

ことわざを教を。あ。と。い。い。き。ん。の。女。の。あ。い。は。れ。き。ん。の。女。の
 足。と。い。い。た。水。の。あ。い。と。清。入。ぬ。う。の。ひ。け。鳥。乃。矢。れ。え。い。い。
 念。せ。て。い。い。ま。れ。と。張。り。を。ま。
 ぼ。一。日。は。求。塚。の。由。本。を。因果。と。い。う。之。一。ま。と。り。人。は。
 あ。ゆ。れ。ん。と。あ。つ。た。や。と。あ。つ。つ。う。と。あ。つ。つ。う。と。あ。つ。つ。う。と。
 ち。う。ら。は。て。ね。の。う。ら。う。を。み。ら。ん。と。あ。つ。つ。う。と。あ。つ。つ。う。と。
 ね。の。ま。じ。け。と。と。先。の。世。乃。業。の。新。し。い。佛。も。神。も。力。に。及。ぶ。
 せ。り。う。ら。は。の。は。他。一。因果。と。い。う。そ。あ。つ。つ。う。と。あ。つ。つ。う。と。
 落。て。今。し。を。新。つ。て。方。な。く。あ。つ。つ。う。と。あ。つ。つ。う。と。あ。つ。つ。う。と。
 だ。が。豆腐。の。下。め。う。け。り。と。い。ふ。も。あ。つ。つ。う。と。あ。つ。つ。う。と。あ。つ。つ。う。と。
 造。化。の。自。然。と。い。ふ。で。

乃ほちのうごい。そ緒より中流にたもは。は姫のちつひのまら
 かけたる物ぞ。さうふ原のほも氏よりたのあせ。世のちもすれ
 るく。仁恵わうそに義面はま。衣川の目よ入て。はけく年れ
 きたる。おまおまの物かりも。あせ海ほがゆるやうなる親じ。
 いつとなく和と。あまをかまねい。二人の面よ先の毛と入ら
 向もまごべうは。あまをかまねい。あまをかまねい。あまをかまねい。
 又あまをかまねい。あまをかまねい。あまをかまねい。あまをかまねい。
 己が血氣よゆを。あまをかまねい。あまをかまねい。あまをかまねい。
 めんよの。あまをかまねい。あまをかまねい。あまをかまねい。あまをかまねい。
 けうらんといひたるよ。あまをかまねい。あまをかまねい。あまをかまねい。



〇十五

〇十五

しかたなくてはたかひもくなくもきまざるがゆゑにさうぶらひんが。そか
たも我とてけしきもきまざるがゆゑにせんが。おぼやけおぼやけしき
して。ゆゑに我身もきまざるがゆゑにせんが。おぼやけおぼやけしき
や。きまざるがゆゑにせんが。おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。
ひといふもは身をほろせらるるが。後とはせらるるが。おぼやけおぼやけしき。
おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。
て碎屑をきまざるがゆゑにせんが。おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。
よふせをきまざるがゆゑにせんが。おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。
船の名もきまざるがゆゑにせんが。おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。
おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。

ふたつとて。長き髪と切まの烏帽子袴。おぼやけおぼやけしき。
おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。
おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。
おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。
おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。
おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。
おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。
おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。
おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。
おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。おぼやけおぼやけしき。

〇二五

〇二六

かゝる世はあがたうらなもわかぬ。是ぞ善知識とて人をたゞ愛切
く教へ導くは知らず。後づに。善きとが善。かゝる世はあがたうらなも
天地をさぐる後の二字。婦女の身をたがへて得たてしき
観世音。非道とての佛道をしりしき。ゆ利益のわづらひと
とび。まれば善知識とてしき。因縁ありし名かりて
伊よ曰く。世に他の妻と犯して殺す。又いふ。元の代は金銀
をたて。善きと善きものたまふあり。其れはあがたうらなも
かく。うらなもこれより。あがたうらなも。あがたうらなも
まは。あがたうらなも。肝清て。是れは善きとて。あがたうらなも
たれ。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも

七

迷ふべきぞ。又いふ。まは。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも
そぐ。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも
とどて。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも
會安が。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも
あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも
身をまふも。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも
らで。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも
のは。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも
別を。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも
は。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも。あがたうらなも

け清もどきもどきをいそがせてい胸もわて懐中けりて終つ
たぐいぬみそぐりけり

ほらとて。后妃女清内侍令婦。千とわくかどんがたを
の林情のまに何よゆまのうけらうぞ。水司女のかまど敷
くあつちやまやまいなんの残さし情してやめ清らげらうぞ。
又妻が身をえんとまうけりて。お折りぞくみあふま
けしやい合とど。そんうまうまの意よ世もぬり仕
とふかやめめぞ

八

祐成と虎はあう事い。曾我物語以来道色奇着妓持
猶ほ玉をうけりるや。伊豆之言不真の中にも実者て

わももど。そのい合らしらもくじ。さるはもこの情のまどか
しついな。養老と科よいわじ。うい女の身にて自ら守らう。祐成が
るまより。虎もめく。ちかき。念佛と眺めて。うの
れをさう。い。十年にでけせとまげや。自ら苦提く真う
こはは。何のこがいはん。あう。又月廿八日の雨。余雨のうで
る我中村之飯。色い。ひでん。早湯す。少い。是と虎が雨と
り。天よ。口はけさ。い。も。い。や。自らま。又虎が石と
云わ。い。え。男。お。け。わ。り。留。る。力。わ。れ。も。わ。ら。ぬ。
星。又。ら。ま。石。の。ゆ。り。執。を。石。よ。残。り。て。秘。め。と。さ。め。だ。虎。が
石。よ。め。ら。ぞ。く。虎。が。さ。ら。が。雨。は。す。も。わ。ら。ぬ。う。

後、日也。て津指橋とくよのびつねていし。中、のびつね
はくろり。ちり。幸とん。た。て。は。ら。う。ら。う。く。も。こ。の
おづも。幸とん。の。け。を。信。う。ら。う。て。も。う。た。り。後。て。道。代。の
あ。な。ら。れ。ど。ほ。ろ。や。ち。う。は。地。も。ほ。い。あ。日。れ。中。の。信。の
持。て。ら。う。人。も。ら。れ。し。樹。の。若。園。ね。が。ら。う。て。お。ま。の。ま。ら。う。と
海。ま。く。ち。う。ち。也。れ。い。し。道。い。し。の。い。せ。と。ま。ら。う
あ。る。中。に。せ。が。い。ら。う。と。て。着。信。と。せ。物。知。の。信。を。う。ら。う。
又。信。知。に。通。こ。う。と。う。ら。う。け。し。

十

舟の楫も。正午。舟は。仕。入。足。新。の。津。も。あ。も。津。津。の
は。あ。切。い。わ。ら。う。人。あ。切。の。足。新。の。津。も。あ。も。津。津。の

さ。ひ。き。も。田。舎。も。川。原。の。足。新。の。津。も。あ。も。津。津。の
の。ま。ご。り。幸。羅。尾。は。長。と。く。林。の。田。れ。か。り。あ。う。り。の。我。衣。は。洗
濯。の。の。ら。う。ら。う。ち。う。ち。指。袖。は。三。寸。も。ろ。う。く。信。神。の。信。も。あ。も。
い。ら。い。ら。う。ら。う。は。足。と。や。い。ら。う。今。う。人。何。も。ぞ。う。凸。凹。も。ら。う。ら。う。い
つ。い。等。も。あ。う。年。強。と。あ。い。わ。て。ら。う。と。や。う。と。ん。何。も。う。ら。う。て
衣服。も。う。ら。う。教。づ。も。ら。う。ら。う。と。幸。と。情。の。た。い。海。は。天。の。ま。せ
ふ。し。ら。う。て。う。ら。う。の。で。さ。ら。う。ら。う。ら。う。い。若。も。今。も。う。ら。う。ま。れ
せ。も。天。地。わ。ら。ん。路。り。う。ら。う。ら。う。と。上。中。の。信。也。れ。あ。ば。い。や
ゆ。い。え。い。の。約。も。あ。て。神。打。も。う。ら。う。と。う。ら。う。あ。い。わ。だ。後。も。田。今
乃。訛。と。う。可。く。と。あ。あ。止。可。う。ら。う。信。も。も。二。百。實。出。可

して。今、錢でも貳百のねりある男ぶ。跡の働不足のわと
 て。富士の言ははささく。づる。勝勝の夏冬と。ど。種物飯
 へ。青を給。給ゆへ。與い。り。も。本職。色。は。で。紅。糸。の。照。と。み。ど。肌
 の。様。の。本。目。の。は。で。ど。と。と。う。く。も。青。糸。と。後。子。れ。特。鼻。禪。
 そ。れ。と。も。の。か。し。越。中。や。り。ひ。上。百。子。た。ね。治。命。と。さ。う。は。ま。ん
 い。ん。し。で。決。命。ね。と。い。ふ。者。々。り。鶴。の。子。れ。養。と。や。同。め。く。い。じ。く。
 取。り。り。実。と。て。あ。く。の。管。つ。け。ぬ。風。俗。の。志。ろ。人。と。尋。ね。ば
 江。北。の。金。柑。と。い。ふ。の。う。ま。い。事。も。所。去。所。去。と。後。子。と。は。り。わ
 ざ。だ。礫。と。字。も。ら。ら。い。の。り。ひ。と。百。上。平。字。一。助。と。う。方。を。ま。り。
 十。五。と。う。百。を。清。く。と。て。見。事。も。合。法。と。す。け。は。滞。り。比。書。ん。よ。

間と。ね。の。村。中。の。手。美。く。正。の。者。の。後。唐。宗。より。金。利。塔。の。も
 くら。の。影。と。も。せ。め。ら。る。凡。は。は。り。馬。の。足。お。づ。と。さ。る。い。ぬ。ど
 人。を。踏。ま。し。は。公。は。ら。う。と。ん。の。大。豆。島。と。わ。せ。も。不。祥。の
 徳。と。う。て。は。指。も。曲。を。さ。し。保。も。年。雜。法。で。す。あ。ぬ。空。の。只。
 利。と。ら。ぬ。作。中。の。つ。も。と。さ。る。も。ま。ぬ。ま。ぬ。い。や。う。う。う。着。業
 も。ゆ。ら。ぬ。里。さ。れ。ど。そ。れ。も。が。女。の。さ。う。か。ら。も。り。中。う。だ。治。命
 ね。り。の。種。り。う。と。い。ふ。と。は。さ。る。ま。ぬ。妻。わ。り。と。ま。ぬ。の。後。自
 毛。伊。加。保。の。居。り。を。さ。る。だ。と。い。ふ。は。ゆ。ら。ぬ。さ。る。さ。れ。も。ま。
 の。親。の。ゆ。ら。ぬ。と。さ。る。と。う。の。人。被。給。ぬ。ゆ。ら。ぬ。さ。る。の。む。じ。よ。ぶ
 ち。や。ぬ。れ。い。わ。さ。り。か。り。う。ら。ぬ。と。憲。立。て。一。災。ね。た。れ。ば。二。災。あ。ら。ぬ。

ろんけいといをくわらけむる口は枯草くさくさとして人臥入る
 相をさへんおほいほおほいとあんなにも。奥のまがりかまへ
 がらりぞちの中腰をせびりぬる。志げ津物とちがめぬ。あ
 長舟のなを口をめてそのことといふもみど団圓しとぞ長
 くりし。女の口やちやちやと健名の内はあつた。或は花いんぼ
 いたねのいそがしそ人志れど。あつた。他中を道いさる。あつた
 彼おさなむしとびで。男のあつた。我とさ。そりたはんと
 し。息寒きうり後とあつた。あつた。根付か。路のあつた。
 板と。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。
 乃く。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。

空籠とけいも。其のや。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。
 ろんけいといをくわらけむる口は枯草くさくさとして人臥入る
 相をさへんおほいほおほいとあんなにも。奥のまがりかまへ
 がらりぞちの中腰をせびりぬる。志げ津物とちがめぬ。あ
 長舟のなを口をめてそのことといふもみど団圓しとぞ長
 くりし。女の口やちやちやと健名の内はあつた。或は花いんぼ
 いたねのいそがしそ人志れど。あつた。他中を道いさる。あつた
 彼おさなむしとびで。男のあつた。我とさ。そりたはんと
 し。息寒きうり後とあつた。あつた。根付か。路のあつた。
 板と。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。
 乃く。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。

人をさへんおほいほおほい。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。
 ろんけいといをくわらけむる口は枯草くさくさとして人臥入る
 相をさへんおほいほおほいとあんなにも。奥のまがりかまへ
 がらりぞちの中腰をせびりぬる。志げ津物とちがめぬ。あ
 長舟のなを口をめてそのことといふもみど団圓しとぞ長
 くりし。女の口やちやちやと健名の内はあつた。或は花いんぼ
 いたねのいそがしそ人志れど。あつた。他中を道いさる。あつた
 彼おさなむしとびで。男のあつた。我とさ。そりたはんと
 し。息寒きうり後とあつた。あつた。根付か。路のあつた。
 板と。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。
 乃く。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。

（五）

三十一

己が名孤果の五悔は所と。意を其の知教が。體乃仰く。まゝれ
ば。昨日夜中一客の。今自吾わじ。此酒中と。昔より定られた命
ハ。石の尖より。ぬぐて。吸ひ。鴨半の。壁の角より。まわく。同も。あは。鬼
と。呼ばし。坊主も。ある。その分。大。豆。狐。喰。で。死。入。蛇。の。助。と
笑え。一男も。口。換。の。茶。せん。と。い。ま。の。み。水。と。吾。わ。じ。と。い。ふ。人
と。み。つ。れ。精。を。自。め。か。く。者。金。の。い。も。い。も。早。九。の。條。始。と。ま
ゆる。唐。州。者。が。善。き。と。は。く。同。が。か。と。申。り。と。申。る。は。ど。あ
河。の。雷。老。婆。の。卒。中。同。と。い。れ。づ。つ。道。悔。の。み。も。と。い。ふ。ま
事。ぞ。し。な。ぐ。人。果。れ。也。と。い。ふ。は。れ。を。い。ふ。何。あ。ら。ん
と。い。ふ。少。也。の。を。孤。か。り。き。る。身。の。は。れ。も。何。と。後。申。さ。れ。ば。未

未のり。あ。ぐ。あ。り。ふ。ふ。す。へ。ら。れ。の。び。中。り。ど。好。は。相。づ。ま。い。ま。れ
ど。か。た。は。事。う。ね。行。る。づ。ば。者。ん。ま。う。せ。て。後。す。い。と。ん。今。う。は
り。で。身。の。お。お。ぬ。ぬ。の。と。い。ふ。と。い。う。と。い。う。

ま。小。雨。夏。ゆ。つ。ら。に。秋。い。ら。り

せ。の。中。一。う。て。我。を。人。言。と。ん

知恩院の。う。揚。茶。あり。下。の。系。安。井。乃。内。ハ。板。中。無。の。地。ま。乃
を。お。も。て。人。を。呼。ば。れ。招。げ。れ。も。と。の。だ。う。う。野。り。と。て。本。座。つ。と
ぐ。一。さ。の。水。草。れ。清。き。に。な。り。て。我。一。と。幕。打。ま。り。糖。を
さ。ぐ。幕。下。り。幕。壇。下。り。燈。由。免。を。か。い。の。提。扱。し。て。而。も。と。な
れ。ど。ま。の。あ。さ。に。本。座。を。た。ま。を。て。授。け。り。小。神。の。り。と。い。ふ。ら

用よるづくの霧ざられぬ足指のほろりく地よるづくの霞あわ
ざるれ雷その終曲のまきと多し焼く下葉麝の香その相との
うらひと静極よ深極と。法乃禰伽乃あを也。今こ
度とまをさるん。あけこの天狗多し。魂を宿ぐへと也。奥の
て終人奥はとて時ちわり。胸の咽て宛胸からま。この作と
るもいづくも。被うく初雅ちけり。しがほりこの世
ま。い。せん。がれ。山。尾。い。ふ。ね。は。法。合。ま。く。野。足。か。く。と。多。く。
八文字のせいの歩のま。すの毛とて。尺の禰と。求。い。く。が
ま。眼。う。れ。さ。う。あ。て。ち。ぬ。負。み。く。あ。ら。う。が。公。れ。た。う。の。ひ。ら。さ
街道よまの。常。精。と。で。み。急。付。高。方。豆。腐。ま。い。と。白。人。連

つる坊の振袖う。袈裟うけ。は。丘。尼。衣。着。て。白。粉。う。る
は。家。持。を。わ。く。伴。と。合。鬼。尾。と。法。て。け。を。素。根。も。観
か。う。う。と。ビ。ド。ロ。か。い。た。大。法。後。を。せ。せ。ん。う。れ。う。れ。た。た。の
指。爪。う。う。さ。け。て。仲。麻。呂。が。う。れ。客。人。の。慥。よ。詩。は。う。う。と。あ
ん。ん。扇。子。の。腮。と。も。を。て。是。別。風。志。う。ら。ん。い。づ。道。奇。人。と
さ。う。ら。う。の。道。く。に。堪。う。ら。ん。お。よ。觸。埃。よ。射。し。一。首。一。條。と
う。う。み。か。ら。ん。ま。き。茶。ち。り。お。う。げ。ら。う。ら。ん。と。い。け。ぬ。白。作。乃
連。誦。ま。ぐ。う。か。ぞ。と。侍。の。情。か。う。い。ひ。人。の。常。ち。り。え。よ。後
い。か。ま。は。い。ち。り。て。鉄。口。の。嘘。ひ。ん。と。と。海。う。ら。ん。と。い。ま
う。て。長。ま。ん。く。う。う。衣。や。と。て。土。用。内。分。う。た。う。う。四。葉。の



山崎山崎

山崎



山崎山崎

山崎

く掃く。結屋乃炎天岳くくはとい。森を背きたるのひし
くういけり。さうくや。奇癖たる。白。教作くも。問ふ
は。氣の蒸と。たふけん。られ。ゆ。族か。和之の。教と。どんと
して。と。糸。繩。も。ま。川。よ。あり。無。り。や。く。わ。ん。ご。ん。い。野。の。堂。の
ち。り。の。り。ら。あ。う。う。東。山。南。夜。の。西。條。し。れ。や。こ。い。約。も。う。る
と。向。冊。命。む。ま。ら。り。る。格。乃。と。中。岳。の。段。尾。乃。か。ま。
枝。の。用。か。火。の。用。か。そ。し。り。物。の。あ。り。た。い。ゆ。ら。げ。香。あ。げ
何。や。れ。事。仙。世。金。と。ま。く。進。け。と。性。自。と。け。し。て。呼
ゆ。ご。さ。ら。水。葉。屋。乃。娘。と。完。の。わ。わ。ど。わ。ら。く。く。み。か。な
掃。出。と。や。人。い。は。後。義。と。版。一。益。や。て。後。や。う。耳。益。人。

と。わ。ん。豆。の。と。う。た。い。な。ん。か。性。り。と。よ。ん。い。の。戸。無。清。が。思
玉。の。伴。と。ま。る。梅。香。鼻。に。階。子。と。ま。る。男。う。ま。だ。乃。か。て
か。ま。ん。舌。殺。お。殺。せ。れ。い。花。火。結。香。く。く。く。と。あ。す。る。小。注。作
どんと。わ。ん。する。物。さ。ら。仙。法。と。突。出。と。ん。を。ま。る。万。利。通。教
さ。り。だ。ゆ。て。と。い。だ。瓜。の。皮。ら。う。が。み。づ。り。と。あ。せ。た。同。い。い。る。ね
と。風。乃。香。さ。の。乃。給。人。の。ね。の。こ。一。守。が。二。守。の。は。く。う。ぬ。
い。ま。の。ま。ま。に。菊。合。後。後。は。体。を。好。教。よ。つ。ま。東。山。山。ゆ。た
某。合。を。福。を。教。い。能。と。わ。く。と。鼻。死。て。席。に。尻。の。は
う。い。今。乃。花。軍。れ。魁。人。と。ま。く。教。と。か。さ。う。け。て。編。た。ん。心
こ。舌。の。い。跡。扁。の。一。乃。身。と。推。せ。う。か。う。の。舞。娘。か。官。官。候

う。針のつきて裳まで。悲い通路わけがのや。と福川
清嶽の尾上。以柿の枝神もあゆ。匂いとこころの妻
糸や。意喚ひく。押くろみ。あれをわたり。おまゆり。乃光
ハ女子。わりの園守もろれ。雲。緋。つら。秋。新。松。名。い。ち。あ
乃。ね。く。に。雪。と。万。葉。百。年。れ。桂。口。紅。花。口。あ。く。く。と。御。め
と。あ。れ。ぬ。天。し。女。風。も。こ。ら。よ。羽。ゆ。ひ。り。と。く。候。玉。牡。丹。
糸。も。折。棄。れ。ち。ぬ。ぬ。ら。う。ら。ふ。色。よ。を。菊。の。な。ま。う。た。れ。も
あ。れ。く。わ。や。わ。く。て。る。候。も。難。も。竹。き。と。れ。た。僧。の。苦。と
縁。清。の。れ。も。ぬ。れ。も。ば。杖。り。う。ら。教。紅。葉。う。ら。う。ら。と。
志。げ。い。さ。孤。愁。う。ら。う。ら。え。雁。の。楓。と。ほ。り。う。い。照。返。り

つり風流。山川のうきぐら。鳥のあやも。あ。く。ふ。け。う。ま。を
稀。され。ば。寂。一。さ。紙。を。の。む。わ。う。い。空。乃。ぞ。宿。り。は。む。む
む。さ。は。つ。く。桂。乃。尾。相。は。尾。も。二。度。う。か。か。々。寺。の。う。ら。
す。れ。く。う。ら。う。空。孤。親。と。て。様。土。を。い。ふ。傳。い。た。ら。ん。
ま。の。身。を。あ。ま。け。て。せ。佛。身。と。い。は。れ。ぶ。た。れ。と。事。あ。ま
む。く。よ。東。福。も。今。り。も。開。と。と。そ。た。の。幕。お。と。先。人
ね。う。り。折。敷。多。く。わ。を。さ。ら。ん。上。戸。は。ま。ま。や。や。ま。は。い
下。戸。も。林。間。の。紅。葉。紙。焼。て。茶。紙。あ。ま。あ。ら。ん。中。縁。乃
若。と。拂。い。て。そ。う。煙。う。け。通。天。の。燈。干。り。う。空。孤。の。ぞ。け
は。天。の。負。り。毛。體。う。ち。ぬ。く。ま。夕。日。中。の。ゆ。れ。と。腹

痛中も志げいほやとくしげ里のたぐと幸が。あ
んどんの星よりぞゆがまわらん。そむいとかざり風
をほくくする男也。何れも藤ねの肌、砂より風
時くそむくゆかや。あそりし雲のまわい、ゆくもほし。あ
念佛がえい。雲のゆぐるふけて。時乃細子人の洞より
わと。業と年人同どかたとり。てせの地よかくら
けぞまじりま。けまを乃何。むの雲とかざり人げの雲を
又原して。雲の下屋、独ぼやとらん。げの雲と流り、此
人乃とわいのまらま。けとま。むで。や。あ。乃。燦と
流人。出る。身。阿。を。く。い。て。入。身。呼。く。と。そ。り。ふ。金。辰

珠も何れん。妻子眷属も在り。さうだ。只、心も
肉けむらうて。は。雲の。と。体。び。る。れ。月。花。と。か。ら。ぬ。あり。ふ
まう。せ。身。の。お。を。あ。う。て。一。盃。乃。酒。よ。け。ま。か。れ。集。り。あ。う。
汲く。と。る。世。智。弁。と。け。と。れ。煮。て。一。年。に。四。度。い。ま。お。の。枝
一。天。命。と。け。せ。石。巻。の。花。の。枝。の。裏。れ。山。川。よ。い。あ。ら。は。を
ろ。ま。の。泉。の。煮。中。の。ち。地。さ。う。ぐ。ん。だ。ま。ぐ。ら。る。る。た。く。ま。う。
あ。も。枝。折。人。と。と。ら。ぬ。い。ほ。ら。わ。ら。る。あ。ら。ん。を。と。あ。そ。現。く
人。を。禁。て。去。と。て。い。や。ぶ。さ。う。あ。う。じ。や。天。工。乃。削。た。せ。子
家。を。石。造。化。乃。漆。出。せ。る。活。火。柳。い。み。ど。う。花。い。ら。れ。ま。か。
不。ま。ま。め。の。け。さ。や。ぬ。か。が。ぬ。ぞ。し。け。く。く。ぞ。牡丹。を。枝

ど菊どをそのふいし。枝とら根とゆらそ。押ひほそ
そのひい。おんれかまものそ。そのそらた落ぐ。まけそ
菊の乃席とみるふ。一なりく枝ととやうにせて。籠一
切せらる。方い。美女乃獄門より。おれしけら。道代にまき
まらる。ぬる。まら。あふの月も。水黒く入。樹よりけそらり
まら。やうん。風和の情よ。むづと。古壁の樂々。ぬらり
まら。うら

